正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

2月号 2024



ガザ南部ハンユニスのヨーロピアンガザ病院周辺の様子を同僚が伝えています。この動画は、X（旧ツイッター）で30万回以上再生され、大きな反響を呼んでいます。

昨年10月から約４カ月間の活動内容はこちら

イスラエル・ガザを超えて広がる暴力の連鎖に歯止めを！

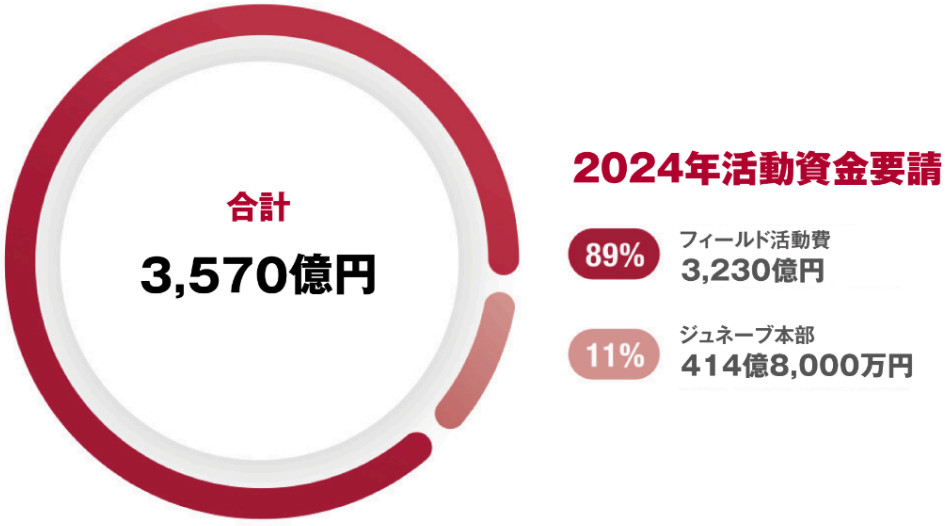
紛争の現場から



ロシア・ウクライナ国際的武力紛争：
行方不明者は23,000人

ロシア・ウクライナ紛争が激化して２年が経ちました。両国の国境周辺、また国境を遠く離れたところに避難している数百万人を含め、人道ニーズは高まっています。ICRCは、物資援助に加えて、行方不明になった人の安否を突き止め、家族や愛する人と再会できるよう取り組んでいます。

待ちわびる家族の想いとは？



2024年活動予算
～紛争地にいる人々の苦しみを和らげるために

ICRCは現在、武力紛争やその他暴力が伴う事態の影響を受けた人々に人道支援を行うため、3,570億円の拠出をドナー国に呼びかけています。どの国・地域が最も活動資金が必要なのか、また、どの事業にどれくらいの金額が必要なのか、日本語版を作成しました。

日本人に知ってもらいたい！



コンゴ民主共和国：
激しい戦闘で増え続ける負傷者

アフリカ中部のコンゴ民主共和国で武力衝突が激化し、医療や民間人への影響が深刻化していることを受けて、ICRCは現地の活動態勢を強化しました。戦闘地域では多くの医療施設が機能していないため、前線から離れた北キブ州の州都ゴマにも多くの負傷者が運ばれてきています。

戦闘地域で医療が崩壊している主な要因とは？

世界のトレンド



戦争とはいえやりたい放題は許されない
～膨大な人道ニーズと赤十字が果たす役割

イスラエルとガザで繰り広げられている暴力の応酬は、世界各地の紛争地で活動する私たちがここ数年で目にしたことのないレベルに達しています。「国際人道法の守護者」と呼ばれるICRCの“憤り”、そして事態の打開に必要な要素について、季刊アラブ最新号へ寄稿した論説のオリジナル版です。

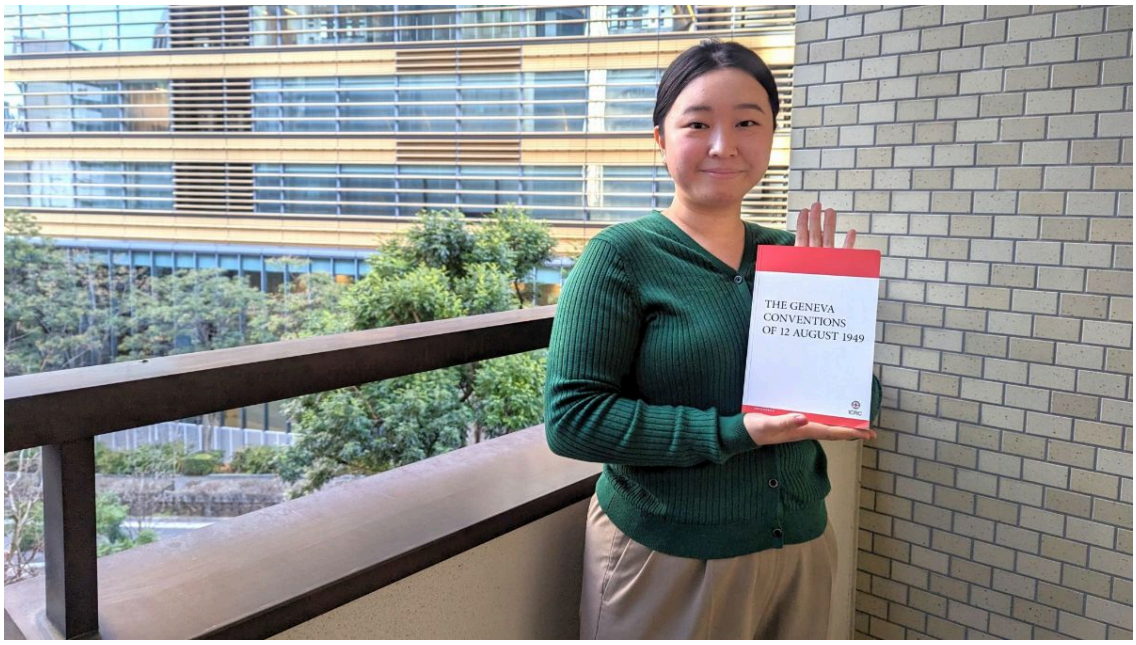
人道支援に不可欠な二つの“A”とは？



国際人道法の観点から見る
イスラエルとガザ情勢

ICRC法務部長コーデュラ・ドローゲが国際人道法の役割と重要な３つの基本原則「区別」・「均衡性」・「予防」について解説。こちらも季刊アラブ寄稿文のオリジナル版。

駐日代表部だより



「スピード感を味わえたことはまたとない経験」
インターンシップ体験談

昨年７月から半年間、ICRC駐日代表部で広報インターンとして勤務した斎藤愛実さん。応募のきっかけや担当業務の内容、最も印象に残っていることなど、体験談を寄せてくれました。

インターンから見た広報の魅力とは

その他のニュースはこちら

E-newsletter のアーカイブはこちら

© 2024 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

mailchimp